

1 西東京市の「強み・弱み」の現状整理表（SWOT分析）

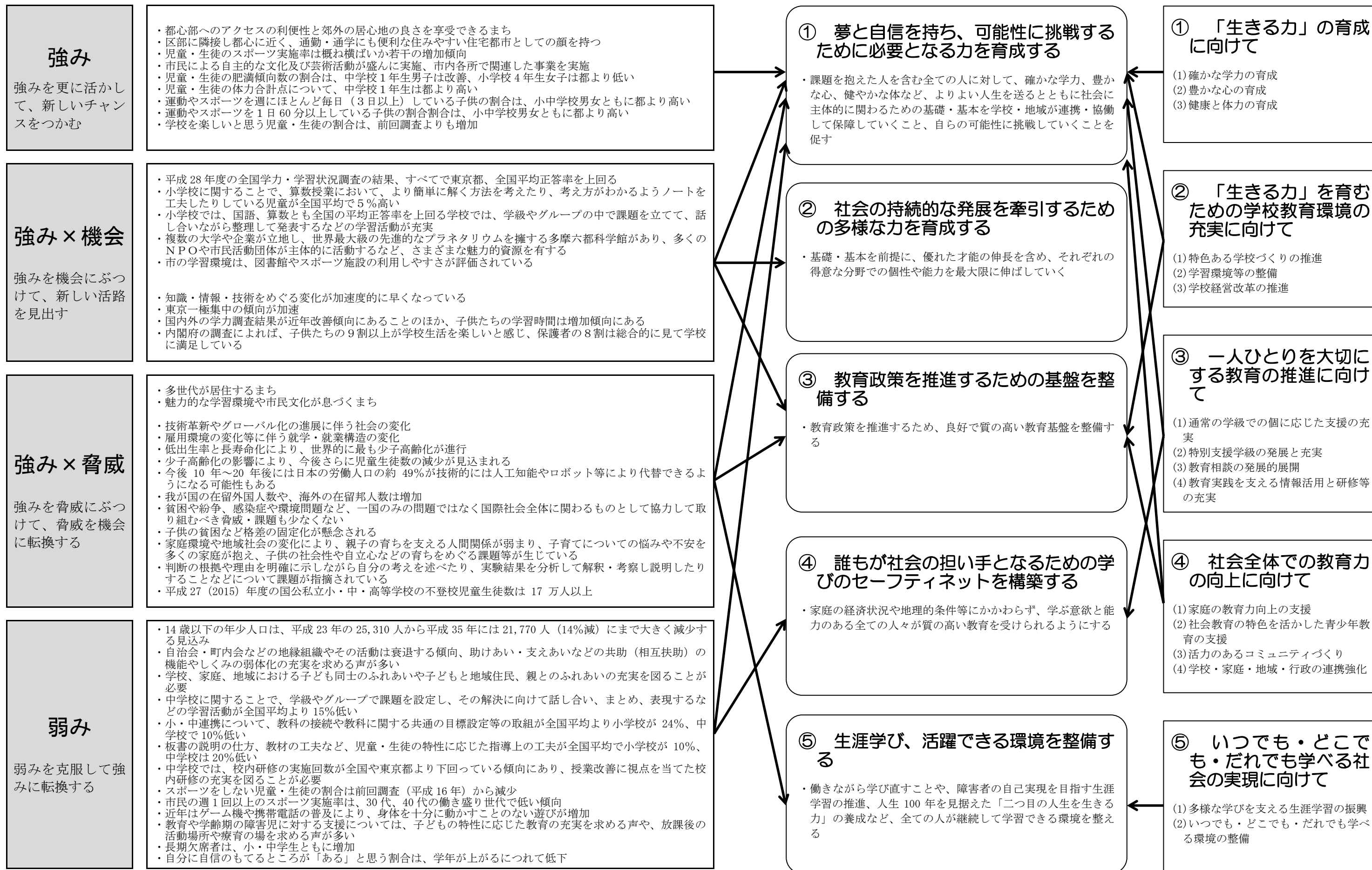
現計画	現計画・関連資料から見られる現状・課題		アンケート結果等	教育を取り巻く西東京市の「強み・弱み」	
	西東京市第2次基本構想・基本計画（平成26年3月）	子育て・子育てワイワイプラン（平成27年3月）/西東京市スポーツ推進計画（平成26年3月）/第2次西東京市健康づくり推進プラン（平成25年3月）など		【機会】	【脅威】
<p>基本方針1 「生きる力」の育成に向けて</p> <p>基本方針2 「生きる力」を育むための学校教育環境の充実に向けて</p> <p>基本方針3 一人ひとりを大切にす教育の推進に向けて</p> <p>基本方針4 社会全体での教育力の向上に向けて</p> <p>基本方針5 いつでも・どこでも・だれでも学べる社会の実現に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自治会・町内会などの地縁組織やその活動は衰退する傾向にあり、これまで地域が担っていた助けあい・支えあいなどの共助（相互扶助）の機能やしくみの弱体化が進行 本市における14歳以下の年少人口は、平成23（2011）年10月1日時点の25,310人から平成35（2023）年には21,770人（14%減）にまで大きく減少する見込み 区部に隣接し都心に近く、通勤・通学にも便利な住みやすい住宅都市としての顔を持つ 複数の大学や企業が立地し、世界最大級の先進的なプラネタリウムを擁する多摩六都科学館もあり、多くのNPOや市民活動団体が主体的に活動するなど、さまざまな魅力的資源を有する 少子化、核家族化が進む中、学校、家庭、地域における子ども同士のふれあいや子どもと地域住民、親とのふれあいが希薄になっているといわれている。 自分自身の能力の向上や心の豊かさを高めるために、学校教育以外の場での学習機会や文化芸術やスポーツ活動に親しめる環境づくりが求められる 「重点改善分野」には、「子どもの教育環境」が分類 <p>○成果指標の達成度</p> <ul style="list-style-type: none"> A L T（外国人英語指導助手）による指導を受けている児童・生徒数：10,207人、評価A 「市立小、中学校での教育の充実」の市民満足度：19.4%、評価A 「生涯学習活動の充実」の市民満足度：24.6%、評価A 「スポーツ活動・イベント機会や施設整備の充実」に対する市民満足度：29.9%、評価A 「市民文化祭などの芸術・文化活動の充実」に対する市民満足度：32.3%、評価B <p>○施策に対する市民満足度（H24）</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校教育の充実：20.1% 生涯学習社会の形成：24.6% 学習活動の推進：46.4% スポーツ・レクリエーション活動の振興：29.9% 芸術・文化活動の振興：32.3% 	<p><全国学力・学習状況調査（平成28年度）></p> <ul style="list-style-type: none"> 小学6年生で、国語Aは76.0%、国語Bは63.3%と東京都、全国平均正答率を上回る 小学6年生で、算数Aは81.7%、算数Bは52.7%と東京都、全国平均正答率を上回る 中学3年生で、国語Aは78%、国語Bは69.9%と東京都、全国平均正答率を上回る 中学3年生で、数学Aは64.9%、数学Bは46.2%と東京都、全国平均正答率を上回る 小学生6年生で、新聞を読んだり、読書をする割合が全国より低い。 小学校に関する事で、算数授業において、より簡単に解く方法を考えたり、考え方がわかるようノートを工夫したりしている児童が全国平均で5%高い 中学校に関する事で、学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動が全国平均より15%低い 小・中連携について、教科の接続や教科に関する共通の目標設定等の取組が全国平均より小学校が24%、中学校で10%低い 板書の説明の仕方、教材の工夫など、児童・生徒の特性に応じた指導上の工夫が全国平均で小学校が10%、中学校は20%低い 小学校では、国語、算数とも全国の平均正答率を上回る学校では、学級やグループの中で課題を立てて、話し合いながら整理して発表するなどの学習活動が充実 中学校では、校内研修の実施回数が全国や東京都より下回っている傾向にあり、授業改善に視点を当てた校内研修の充実を図ることが必要 小中学校ともに、授業以外の勉強時間が多い児童・生徒ほど学力調査の正答率が高いことから、補習学習等の充実を図ることが必要 小・中学校とともに、小・中連携教育の実施状況において課題があるため、小中学校間の教科の接続や共通の目標設定など、義務教育9年間を見通した学習指導が必要 <p><子育て・子育てワイワイプラン></p> <ul style="list-style-type: none"> 少子化、過度の受験競争のなかで、一人ひとりの子どもたちが自分らしさを見つけだし、仲間とともにゆっくりと子ども時代を過ごす権利を保障することができなくなっている 地域のつながりの希薄化とともに地域全体で子どもが成長しておとなになっていくための、有効なプログラムが少なくなっている <p><西東京市スポーツ推進計画></p> <ul style="list-style-type: none"> 大学のトップレベルの競技者や指導者などの人材や施設、看護・リハビリテーション分野における人材や施設などの資源を有している スポーツをしない児童・生徒の割合は前回調査（平成16年）から減少していますが、スポーツ実施率は概ね横ばいか若干の増加傾向 現在全く運動を行っていない人に、中学生や高校生の頃に運動経験が無い人が多い 市民の週1回以上のスポーツ実施率は、30代、40代の働き盛り世代で低い傾向 若者が地域で自由に身体活動を行う環境づくりを推進するため、若者が求めるスポーツニーズを把握することが必要 仕事や子育てでスポーツをしたくてもできない状況にある人のための取り組みを検討することが必要 <p><西東京市文化芸術振興計画></p> <ul style="list-style-type: none"> 市民による自主的な文化及び芸術活動が盛んに実施、市内各所で関連した事業を実施 <p><第2次西東京市健康づくり推進プラン></p> <ul style="list-style-type: none"> 子供の頃に身体を動かす喜びを知ることはとても重要ですが、特に近年はゲーム機や携帯電話の普及により、身体を十分に動かすことのない遊びが増加 	<p><西東京市教育計画策定のためのアンケート調査（平成25年）></p> <p><小学生・中学生></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校を楽しいと思う児童・生徒の割合は、前回調査よりも増加 ふだんの生活で気になっていることとして「進路や進学のこと」や「勉強のこと」をあげる割合が高く、前回の調査と比べ、小・中学生ともに塾に通う割合が高い 自分に自信のもてるところが「ある」と思う割合は、学年が上がるにつれて低下 小学生の4割、中学生の6割強は自分専用の携帯電話またはパソコンを持っており、様々な情報に触れる機会が増加 <p><青少年・一般市民></p> <ul style="list-style-type: none"> 市の学習環境は、図書館やスポーツ施設の利用しやすさが評価されている。一方で、施設の利用の仕方がわからないなど、情報が十分でないとの声も聞かれる。 小・中学校では、「思いやりの心や道徳心」「常識やマナー」「主体的に考え、行動する力」「人間関係を築く力」などを教えることが重要 いじめ・不登校の防止のためには、特に「親が子どもを見守ること」「学校の先生が児童・生徒の状況を把握すること」が必要 <p><市内の教育関連施設・団体に対するヒアリング調査></p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館・図書館では情報発信の仕方、施設の使い方が共通の課題。関係課や関係機関同士の横のつながりを整え、役割分担や連携のための体制づくりが求められている。 いじめ・暴力への対応として、より子どもたちに寄り添い、日頃の様子や人間関係に気を配る細やかな指導が求められている。 中学生からは、職場体験など、自分自身や将来のことを真剣に考える場の一層の充実を期待する声があげられた。 児童館・児童センターでは、学校や地域と連携して子どもたちの健全育成にあたっている。近年では、発達障害のある子どもも、虐待の疑いがある子どもも見られ、対応が困難な場合もある。 保護者からは、子どもの安全管理に関する要望が多いほか、携帯電話やゲーム機の使用を通じたトラブルを心配する声も寄せられた。 外国語を母語とする子ども、発達障害のある子どもに対しては、将来の見通しをもてる支援が必要であり、保護者や本人の困惑や不安を少しでも解消できるよう、早期からのサポートや支援体制を充実させることが急がれている。 <p><北多摩北部保健医療圏 保健医療福祉データ集平成28年版資料></p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の肥満傾向数の割合は、中学校1年生・児童・生徒の肥満傾向数の割合は、中学校1年生男子は改善、小学校4年生女子は都より低い 長期欠席者 小学生：73人（H23-56人）、中学生：151人（H23-137人） 小・中学生ともに増加 <p><平成28年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査></p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の体力合計点、中学校1年生は都より高い 運動やスポーツを週にほとんど毎日（3日以上）している子供の割合は小中学校男女ともに都より高い 運動やスポーツを1日60分以上している子供の割合は小中学校男女ともに都より高い <p><平成23年度市民の健康に関するアンケート調査></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分のことを好きと思える割合（「そう思う」+「まあそう思う」） 小学校4年生男子：65.2% 小学校4年生女子：69.2% 中学校1年生男子：43.9% 中学校1年生女子：41.8% 子供をかわいいと思えず負担と感じる、子供といっしょにいるのがつらい、子供をたたいてしまう親の割合 子供をかわいいと思えず負担：0.4% 子供といっしょにいるのがつらい：1.4% 子供をたたいてしまう：8.1% 	<p>【機会】</p> <ol style="list-style-type: none"> 知識・情報・技術をめぐる変化が加速度的に早くなっている 東京一極集中の傾向が加速 国内外の学力調査結果が近年改善傾向にあることのほか、子供たちの学習時間は増加傾向にある 内閣府の調査によれば、子供たちの9割以上が学校生活を楽しいと感じ、保護者の8割は総合的に見て学校に満足している <p>【脅威】</p> <ol style="list-style-type: none"> 技術革新やグローバル化の進展に伴う社会の変化 雇用環境の変化等に伴う就学・就業構造の変化 低出生率と長寿命化により、世界的に最も少子高齢化が進行 少子高齢化の影響により、今後さらに児童生徒数の減少が見込まれる 今後10年～20年後には日本の労働人口の約49%が技術的には人工知能やロボット等により代替できるようになる可能性もある 我が国の在留外国人数や、海外の在留邦人数は増加 貧困や紛争、感染症や環境問題など、一国のみの問題ではなく国際社会全体に関わるものとして協力して取り組むべき脅威・課題も少なくない 子供の貧困など格差の固定化が懸念される 家庭環境や地域社会の変化により、親子の育ちを支える人間関係が弱まり、子育てについての悩みや不安を多くの家庭が抱え、子供の社会性や自立心などの育ちをめぐる課題等が生じている 判断の根拠や理由を明確に示しながら自分の考えを述べたり、実験結果を分析して解釈・考察し説明したりすることなどについて課題が指摘されている 平成27（2015）年度の国公私立小・中・高等学校の不登校児童生徒数は17万人以上 	<p>充実していることや方針【強み】</p> <ol style="list-style-type: none"> 都心部へのアクセスの利便性と郊外の居心地の良さを享受できるまち 多世代が居住するまち 魅力的な学習環境や市民文化が息づくまち 区部に隣接し都心に近く、通勤・通学にも便利な住みやすい住宅都市としての顔を持つ 複数の大学や企業が立地し、世界最大級の先進的なプラネタリウムを擁する多摩六都科学館があり、多くのNPOや市民活動団体が主体的に活動するなど、さまざまな魅力的資源を有する 平成28年度の全国学力・学習状況調査の結果、すべてで東京都、全国平均正答率を上回る 小学校に関する事で、算数授業において、より簡単に解く方法を考えたり、考え方がわかるようノートを工夫したりしている児童が全国平均で5%高い 小学校では、国語、算数とも全国の平均正答率を上回る学校では、学級やグループの中で課題を立てて、話し合いながら整理して発表するなどの学習活動が充実 児童・生徒のスポーツ実施率は概ね横ばいか若干の増加傾向 市民による自主的な文化及び芸術活動が盛んに実施、市内各所で関連した事業を実施 児童・生徒の肥満傾向数の割合は、中学校1年生男子は改善、小学校4年生女子は都より低い 児童・生徒の体力合計点について、中学校1年生は都より高い 運動やスポーツを週にほとんど毎日（3日以上）している子供の割合は、小中学校男女ともに都より高い 運動やスポーツを1日60分以上している子供の割合割合は、小中学校男女ともに都より高い 学校を楽しいと思う児童・生徒の割合は、前回調査よりも増加 市の学習環境は、図書館やスポーツ施設の利用しやすさが評価されている <p>不足または、問題になっていること【弱み】</p> <ol style="list-style-type: none"> 14歳以下の年少人口は、平成23年の25,310人から平成35年には21,770人（14%減）にまで大きく減少する見込み 自治会・町内会などの地縁組織やその活動は衰退する傾向、助けあい・支えあいなどの共助（相互扶助）の機能やしくみの充実を求める声が多い 学校、家庭、地域における子ども同士のふれあいや子どもと地域住民、親とのふれあいの充実を図ることが必要 中学校に関する事で、学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動が全国平均より15%低い 小・中連携について、教科の接続や教科に関する共通の目標設定等の取組が全国平均より小学校が24%、中学校で10%低い 板書の説明の仕方、教材の工夫など、児童・生徒の特性に応じた指導上の工夫が全国平均で小学校が10%、中学校は20%低い 中学校では、校内研修の実施回数が全国や東京都より下回っている傾向にあり、授業改善に視点を当てた校内研修の充実を図ることが必要 スポーツをしない児童・生徒の割合は前回調査（平成16年）から減少 市民の週1回以上のスポーツ実施率は、30代、40代の働き盛り世代で低い傾向 近年はゲーム機や携帯電話の普及により、身体を十分に動かすことのない遊びが増加 教育や学齢期の障害児に対する支援については、子どもの特性に応じた教育の充実を求める声や、放課後の活動場所や療育の場を求める声が多い 長期欠席者は、小・中学生ともに増加 自分に自信のもてるところが「ある」と思う割合は、学年が上がるにつれて低下 保護者からは、子どもの安全管理に関する要望が多い

2 SWOT分析からの課題の検討

【 強み・弱みから見る課題 】

【 重点課題（案） 】

【 現計画の体系 】



3 重点課題（案）を検証するための設問設計（案）

【 重点課題（案） 】	【 調査目的・ねらい 】	【 小学生用／中学生用 】	【 青少年用 】	【 一般市民用 】
<p>① 夢と自信を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する</p>	<p>○急激に変化する社会を生き抜く上で西東京市の子どもたちに必要な力を把握する</p> <p>○子どもの基礎・基本を学校・地域が連携・協働して保障していくためにできることを把握する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いやなことやつらいことがあったとき、相談できる人はいるか ・相談できる人は誰か ・自分のことが好きか ・自分に自信のもてることはあるか ・家での決まりや約束毎を守っているか ・尊敬する人や目標にしている人はいるか ・将来どのような人になりたいか ・将来やりたい仕事はあるか ・どのような仕事をしたいか ・習い事や塾に通っているか ・家での勉強する時間・寝る時間・起きる時間・食べる時間が決まっているか ・家族と話をしているか ・自分専用の携帯電話やスマートフォン、パソコンを持っているか、その利用時間、家族と約束していること ・携帯電話やパソコンでインターネットを利用していて次のようなことがあったか ・近所の人とはあいさつをするか ・地域の行事に参加しているか ・地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じるか ・地域の大人に望むこと ・学校の授業以外でどのように過ごすか 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな悩みや心配ごとがあるか ・相談できる人は誰か ・自分に自信のもてることはあるか ・尊敬する人や目標にしている人はいるか ・将来どのような人になりたいか ・将来やりたい仕事はあるか ・どのような仕事をしたいか ・自分専用の携帯電話やスマートフォン、パソコンを持っている、その利用時間、家族と約束していること ・携帯電話やパソコンでインターネットを利用していて次のようなことがあったか ・近所の人とはあいさつをするか ・地域の行事に参加しているか ・地域・社会の活動に参加しない理由 ・身近な小学校・中学校の取り組みやそこを拠点として行われる地域の活動への参加・協力の意向 ・学校・家庭・地域が相互の連携・協力を深めていく上で大切なこと ・放課後どのように過ごすか ・主に家庭で身につけるべきこと、学校で身につけるべきことで重要なこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちを取り巻く環境は、ここ数年、どのように変化してきたか ・西東京市の子どもたちの実際に身につけている能力や態度 ・西東京市の子どもがどのようになってほしいか ・地域に関心があるほうだと思うか ・近所の子どもたちと接する機会はあるか ・身近な小学校・中学校の取り組みやそこを拠点として行われる地域の活動への参加・協力の意向 ・学校・家庭・地域が相互の連携・協力を深めていく上で大切なこと ・放課後どのように過ごすか ・主に家庭で身につけるべきこと、学校で身につけるべきことで重要なこと
<p>② 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する</p>	<p>○優れた才能の伸長を含め、それぞれの個性や能力を最大限に伸ばしていくために、その個性等にどれだけ気づくことができているか把握する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・得意な分野・科目はどれか、その理由は何か ・授業中にやる気がでてくる時はどんな時か ・授業の仕方でもっとこうしてほしいこと ・学習内容がわからなくなった時にどのようにしているか ・得意なことはあるか ・運動するのは好きか 	<p>（このセルは斜線が入っており、内容は空欄です）</p>	<p>（このセルは斜線が入っており、内容は空欄です）</p>
<p>③ 教育政策を推進するための基盤を整備する</p>	<p>○教育政策を推進するためには、学校指導体制の整備や ICT の利活用の促進、安全・安心で質の高い教育研究環境の整備が必要であることから、そのニーズを把握する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活を楽しいと感じられるか ・学校が楽しいと思う時はどんな時か ・学校が楽しくないと思う時はどんな時か ・学校で困っていること ・学校の登下校中に危険な思いをしたことがあるか ・学校や先生に望むことは何か ・普段授業以外に自分の苦手なことや困っていることに、個別に教えてほしいと思ったことはあるか ・学校のきまり・規則、友達との約束を守っているか ・登下校の途中などに地震などの災害が起きた時にどこに避難すればいいか知っているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活を楽しいと感じられるか ・学校が楽しいと思う時はどんな時か ・西東京市の小学校・中学校で教えることとして重要だと思うこと ・学校や先生に望むことは何か ・いじめや不登校などの問題を防止するために必要なこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・西東京市の小学校・中学校で教えることとして重要だと思うこと ・西東京市の学校教育で子どもに教えることとして重要だと思うこと ・学校や先生に望むことは何か ・地域に開かれた学校にするために、あなたは大切だと思うこと ・いじめや不登校などの問題を防止するために必要なこと ・学校教育の現場で抱えている課題についてどう思うか
<p>④ 誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する</p>	<p>○家庭の経済状況や地理的条件等にかかわらず、教育を等しく受けることができるための条件を把握する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「子ども食堂」という取組を知っているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある子どもたちの教育についてどう思うか ・教育委員会の教育相談をどう思うか ・教育委員会の教育相談の場所や職種について知っているか ・一人ひとりに応じた支援として力をいれるべきと思われること 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある子どもたちの教育についてどう思うか ・障害のある子どもたちの教育の充実のためにどのような取り組みが必要か ・一人ひとりに応じた支援として力をいれるべきと思われること ・「子ども食堂」という取組を知っているか
<p>⑤ 生涯学び、活躍できる環境を整備する</p>	<p>○地域コミュニティの活性化に寄与する地域課題の解決に向けた学びを把握する</p> <p>○仕事・働き方の多様化に対応するための社会人が学べる環境について把握する</p> <p>○障害者権利条約等を踏まえた、障害者の生涯学習の推進について把握する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士で外出するときは、どのようなところに行くか。 ・公民館がどのようなところか知っているか ・公民館を利用したことがあるか ・公民館をどの程度利用したか ・月あたり本をどれくらい読むか ・図書館のどのようなところが好きか ・図書館であつたらよいものは何か ・図書館のホームページを利用する目的 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由な時間をどのように過ごすことが多いか ・学校以外でどのような学習や活動をしているか ・学習や活動を行うことにあたっての困りごと ・この1年間で市内の下記施設を利用したことがあるか ・学習や活動で知識や技術を得たとしたらどのようにいかしていきたいか ・西東京市の学習環境についてどう思うか ・公民館を利用したことがあるか ・公民館を利用する目的は何か ・公民館を利用しない理由は何か ・市の図書館を利用したか ・図書館を利用する目的は何か ・図書館を使用しない目的は何か ・図書館サービスで知っているものはどれか 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習に関して、知りたいこと ・学校以外でどのような学習や活動をしているか ・学習や活動を行うことにあたっての困りごと ・この1年間で市内の下記施設を利用したことがあるか ・学習や活動で知識や技術を得たとしたらどのようにいかしていきたいか ・西東京市の学習環境についてどう思うか ・公民館を利用したことがあるか ・公民館を利用する目的は何か ・公民館を利用しない理由は何か ・「公民館だより」を読んでいるか ・市の図書館を利用したか ・図書館を利用する目的は何か ・図書館を使用しない目的は何か ・図書館サービスで知っているものはどれか